

令和元年度

栃西中だより

第12号

R2.3.24 発行

文責：小林勇夫



学校教育目標

- 進んで学ぶ生徒（自主）
- 最後までがんばる生徒（根性）
- 人のためにつくす生徒（奉仕）

目指す学校像：共に学び共に伸びる栃西中

〔第73回 卒業式〕



3月10日(火)栃木西中体育館にて
 挙行了ました。確かな成長を感じる
 卒業生151名に卒業証書を手渡しま
 した。卒業生にとって最後の校歌や
 記念合唱「正解」の美しい歌声が体育館内に響き渡り、厳粛な中にも感動的な卒業式となりました。

新型コロナウイルス感染症対応のため、時間縮減、必要最小限の参加者で行うとの要請を受け、式次第の縮小、在校生代表者の出席、ご来賓の参列の見合わせ、そして、ご家族から原則1名の出席とさせていただきます。卒業生や保護者の皆様にとって、かけがえのない行事でありますので、本校教職員一同、心を込め、温かみのある卒業式となるよう努めました。卒業生保護者の皆様をはじめ、1・2年生保護者の皆様には、ご理解、ご協力をいただきありがとうございました。心より御礼申し上げます。



やる気

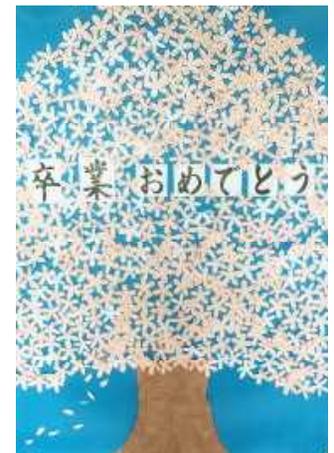
笑顔

感謝



〔在校生からのメッセージ〕

在校生が感謝のメッセージを作成し、3年生の廊下に掲示しました。卒業式には、多くの在校生が出席できませんでしたが、一人一人の感謝の思いを卒業生に伝えることができたことと思います。



〔3年生を送る会〕

2月21日(金)体育館にて行いました。プロの劇団である「劇団め組」の方々をお招きし、「杜子春」を上演していただきました。物語の内容はご存知と思いますが、生徒達は、お金や名声のためではなく、人としてどう生きるべきかを改めて考えることができたと思います。その後の演劇教室では、3年生の有志が演劇体験をしました。また、思い出のアルバムでは、3年間の行事等の映像が映し出され、3年生は、歓声をあげなかせらも3年間の思い出をしみじみと振り返っていました。



〔働く人との交流会〕

2月14日(金)キャリア教育の一環として行いました。アルス幼稚園、とちぎメディカルセンターとちのき、タカ食品工業、陸上自衛隊宇都宮駐屯地から、講師の先生をお招きし、職業に就くまでの道のりや、仕事のやりがい、大変さについてお話いただきました。生徒達には、これからの生き方や将来の夢などを真剣に考えるきっかけとなったようです。



令和元年度を振り返って

栃木市立栃木西中学校長 小林勇夫

今年度5月に元号が代わり、新しい令和時代の幕開けとなりました。教育目標「進んで学ぶ生徒」「最後までがんばる生徒」「人のためにつくす生徒」、そして「やる気・笑顔・感謝」のスローガンの下、生徒たちの授業や部活動、生徒会活動、学校行事に真剣に取り組む姿は大変立派でした。運動会、西中祭、駅伝大会は特に印象深く、一人一人が主体的かつ仲間と協力し合いながらの活動により素晴らしい行事となり、感動で体が熱くなったのを覚えています。特に、台風19号により大きな被害を受けた2週間後に開催した西中祭。短い期間にも関わらず、学校の復旧とともに入念な準備をして、大成功を収めました。生徒達のエネルギーを強く感じました。このように素晴らしい西中生となっていますのは、保護者の皆様、地域の皆様の深いご理解と温かいご支援のお陰であり、深く感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症予防対策による突然の休校に当惑し対応に苦慮しています。保護者の皆様も大きな不安があることと思いますが、対応につきまして、ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

今後も、皆様や各小学校と連携・協力をさせていただきながら、教職員一丸となって栃木西中をさらに発展させ、素晴らしい中学校にしていきたいと考えております。1年間ありがとうございました。



栃木西中学校ホームページ

<http://tm2.tcn.ed.jp/tochi-tochinishihome/>